

授業科目名	授業担当者(担当氏名)	区分	単位	開講年次
修士リサイタル	銅銀 久弥 田部 京子 岡田 博美 川久保 賜紀 池原 舞	必修	2	2

《授業の概要》

学外(富山市民プラザ アンサンブル・ホール)で行う一般公開リサイタル。

《到達目標》

修士リサイタルにふさわしい、個々の専攻楽器による独奏および重奏作品を含んだ、正味50分以上60分以内のプログラムを、作品の背景となる評伝や音楽理論などの知識を活かしたプログラム解説文を自ら執筆することによって、演奏の実践と知的なアプローチとを総合させ、結果「音楽表現の無限の多様性を自らが感受し、表現すること」ができるようになる。また、演奏家としてのステージマナーを身につけることができるようになる。

《履修方法》

- 必修2単位は、リサイタル(演奏時間50分以上60分以内)1単位およびリサイタルのプログラム解説(5000字以上)の執筆1単位とする。
- 演奏曲目は、主任指導教員の指導の下で決定するものとする。
- プログラム解説の執筆にあたっては、楽曲研究基礎担当教員の指導を受けるものとする。
なお、初稿は、2024年1月5日(金) 9:00 ~ 1月9日(火) 16:00 の受付期間に事務担当へデータ(Word形式推奨)で提出すること。
提出された初稿は、事務担当より担当教員へ送信する。以降の校正等については担当教員より直接、指導を受け最終稿を作成すること。
最終稿は、2024年2月1日(木) 16:00 までに事務担当へデータ(Word形式推奨)で提出すること。
原稿等の提出について、上記締切日を過ぎたものは一切受け付けないので注意すること。

《授業計画》

専攻実技レッスン時に主任指導教員と修士リサイタルにふさわしい演奏曲目を決め、リサイタル当日までのレッスン計画を決定する。リサイタル当日は会場練習を行う。

《履修資格／履修に必要な予備知識や技能》

2年次生

《授業の形式》

一般公開リサイタル

《成績評価の要点》

成績は、演奏研究成果の発表で点数評価とし、100点満点中70点以上を合格(単位認定)とする。

《課題(試験・レポート等)に対するフィードバック方法》

課題に対しての到達度と成果について、担当教員のコメントを基に研鑽を積む。

《事前・事後学習》

リサイタル本番を想定した練習を行うこと。(ステージマナー等を含む。)
リサイタル後は、記録音源を聴き復習すること。
事前、事後学習に必要十分な時間を設定する

《教材》

選択した曲目の楽譜、総譜 等

《授業時間以外で、この授業内容等について質問がある場合》

レッスン時間前後。事前に担当教員へアポイントを取ること。